

平成 30 年度八尾市感染症発生動向調査委員会 議事概要

日 時 平成 31 年 1 月 31 日 (木) 14 時～15 時 30 分

場 所 八尾市保健所 2 階 大会議室

出席者 委員 7 名中 6 名出席

規則第 5 条第 1 項によりアドバイザーとして 地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
大阪府感染症情報センター 本村センター長

内 容

1. 所長挨拶

この委員会は、八尾市が中核市に移行したことにより、これまで大阪府が開いていたものを今年度より中核市として開催するもの。

この事業は非常に重要で、地域の先生方の協力により膨大なデータを集約したものを共有し、地域レベルで大阪府全体と比べてよりきめの細やかな分析評価や情報共有ができると期待する。

今日は大阪健康安全基盤研究所 大阪府感染症情報センター長の 本村センター長においていただき、最近のトピックスやデータで特に共有すべき内容などについて情報提供いただくことにした。

今もインフルエンザが猛威をふるっており、感染症は、風しん・梅毒・結核などいろいろあり、短い時間ではありますが、有効活用していただけますようお願いいたします。

2. 委員紹介

3. 委員長、副委員長の選出

委員長には武田委員、副委員長には吉田委員に決定

4. 議事 (1) 八尾市感染症発生動向調査事業について 資料 1

資料に沿い事務局から説明

(2) 平成 29 年に注目された感染症について 資料 2

資料に沿い地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 大阪府感染症情報センター
本村センター長にて説明

(3) 八尾市保健所管内における感染症発生状況および対策について . . . 資料 3

①平成 30 年度全数把握感染症 (一類～五類)

②平成 30 年度定点把握感染症

③平成 30 年結核感染症発生状況および対策

事務局より資料に沿い説明

(4) 最近のトピックスについて・・・・・・・・・・・・・・・・資料4

(1) から (4) について質疑応答や意見交換

(○委員、●事務局またはアドバイザー)

○) 最近報告様式の書式が変更になったが。

●) 従来 of 報告様式には全数把握感染症を記載する箇所がなかったが、全数把握感染症も報告してほしいと要望があり 2017 年 5 月より変更している。

○) 毎週月曜日に FAX で報告しているが、今後はパソコンで報告するようにはならないのか。

●) FAX での報告は通信費がかかるので、インターネットでの報告を検討しているが、報告されている先生方の中にはパソコンが苦手という方もおり、感染症情報センター側もどうすればよいか考えているところである。

○) 淡路市で 7 人亡くなられたインフルエンザの事例について、亡くなられた方は全員ワクチンを接種していたときいている。ワクチンは、発症は予防できないが重症化を予防できると一般的にいわれているが、死亡に至ったのは重症化予防になっていないのではないか。もちろん高齢者なのでやむを得ないとは思うが。

●) 高齢者であるため、免疫応答も低下しており難しいところではある。

○) 成人のノロウイルス感染症について、どのようにして把握しているのか。

●) 大阪健康安全基盤研究所では、食品衛生法に基づく検査を行っており、食品による健康有害事象が発生した場合は、食品の細菌学的検査と、ノロウイルスの検査を実施している。喫食者と従業員の両方の検体から、ノロウイルスが出た場合は、食中毒と判断している。

(5) その他・・・・・・・・・・・・・・・・資料5

事務局より資料に沿い説明